

# おおずの女性

## おおずの女性

く輝いてく

Vol.48

### 大洲市PTA連合会女性副会長会活動紹介

大洲市PTA連合会女性副会長会は、市内37の小中学校の女性副会長のみなさんで構成されており、今年度は43人で活動しています。

現在、大洲市の児童・生徒数は4,311人で、会員数は3,816人を数えます。子供たちの成長を見守るための今年度の活動計画を「情報交換や環境づくり、信頼関係の構築に努め、実践的活動をとおして、新しい時代に即した活力

あるPTA活動の創造とその推進に努める」とし、「思いを動きに、いつでも、どこでも、だれとでも」をスローガンに活動に取り組んでいます。

主な活動内容を紹介しますと、一年を通して行われる、会長・女性副会長会、研究大会、球技大会、県・全国PTA大会への参加、5つの専門委員会の運営がありますが、それに加えて、女性副会長会では、

一・研修会：講師を招いての勉強会や座談会  
二・女性リーダー研修会（年2回）：婦人会のみなさんとの研修旅行・料理教室  
三・三代交流研修会：老人会・婦人会・PTA  
四・中学生での交流会  
：男女共同参画社会づくりセミナーの参加  
：市内の女性団体の

みなさんとの交流  
以上のものがあり、学校運営にご協力をいただいている地域のみなさんや、他の女性団体との交流も大切な活動の一つとなっております。

また、世の中の様子や、価値観が著しく変化している中で母親としての立場から、より細やかな観点と子供を守るためにぶれることのない精神を持って、子育てに関わっていききたいと思っています。

将来の大洲市を担う子供たちのために、大洲市PTA連合会も頑張っていきたいと思っておりますので、これからも引き続きご協力をお願い致します。

大洲市PTA連合会  
女性副会長会

会長 黒木 丸美



第43回長浜駅伝競走大会チーム成績表

部門	順位	チーム名	タイム
1部	1位	西条市陸協	1時間23分16秒
	2位	西予市体協A	1時間24分59秒
	3位	YONDENクラブ	1時間25分47秒
	4位	石井体協A	1時間29分55秒
	5位	松山自衛隊	1時間30分15秒
	6位	新居浜楽走会A	1時間31分10秒
2部	1位	長浜中A	44分44秒
	2位	長浜中B	47分20秒
	3位	長浜中C	49分35秒
3部	1位	松山工業高校A	1時間23分37秒
4部	1位	長浜中A	56分3秒
	2位	長浜中バレー部A	56分7秒
	3位	女子バスケットA	57分23秒
女性の部	1位	松山駅伝クラブA	56分16秒
	2位	松山楽走クラブA	57分19秒
	3位	大洲体協レディース	57分40秒

## 第43回長浜駅伝競走大会



▲長浜路を力走する選手

11月9日(日)、長浜駅伝競走大会が開催されました。一般クラブチームをはじめとする5部門に分かれ、84チーム675人が健脚を競い合いました。小雨上がりの寒空の中、ランナーたちは、長浜本町から白滝間の周回コースを息を弾ませ駆け抜けていきました。主な成績は左記のとおりです。

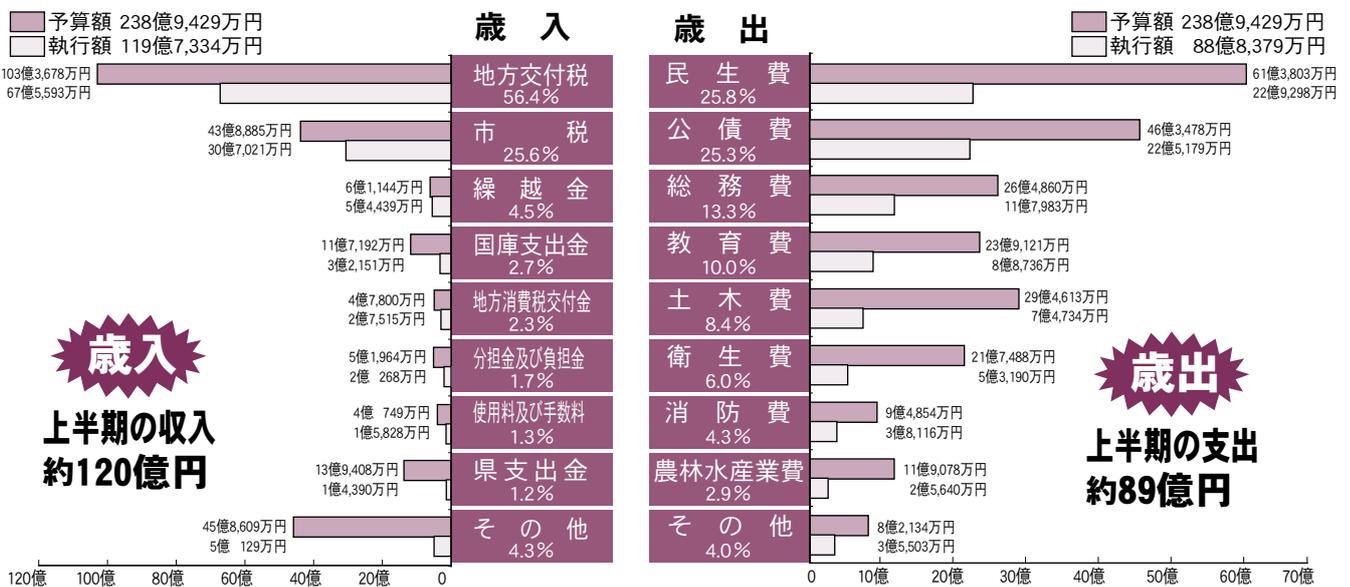
平成20年度上半期

# 財政状況をお知らせします

大洲市財政状況の公表等に関する条例第2条及び地方公営企業法第40条の2の規定により、平成20年4月1日から平成20年9月30日までの本市の財政状況及び業務状況を次のとおり公表します。

## 一般会計予算執行状況

どれだけ収入・支出があったか



**歳入**  
上半期の収入  
約120億円

**歳出**  
上半期の支出  
約89億円

## 用語解説

(上グラフ) ↑

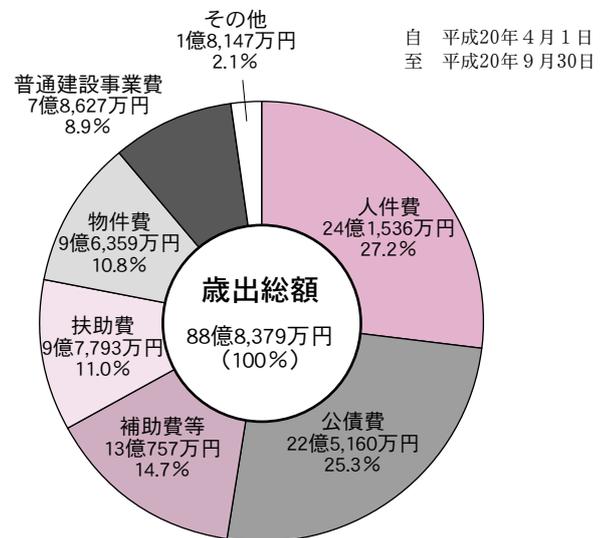
歳入	地方交付税	全国の市町村によって生じている税収入の格差を是正し、一定の行政水準を保つために国から交付されるお国国税5税(所得税、酒税、法人税、消費税、たばこ税)が原資となっています。
歳入	市 税	皆さんから市に納められたお金
歳入	国庫支出金	道路や建物の整備などに必要なお金の一部として国から受け入れたお金
歳出	民生費	主に福祉の充実のために使ったお金
歳出	公債費	市が借り入れた市債(借金)の返済に使ったお金
歳出	総務費	市役所の管理、電算システム、戸籍、税などの事務に使ったお金

(右グラフ) →

公債費	市が借り入れた市債(借金)の返済に使ったお金
補助費等	様々な団体などへの補助金や消防などの事務を共同で処理するために設立された組合への負担金などに使ったお金
扶助費	児童手当や乳児、老人、重度心身障害者の医療費などに使ったお金
物件費	消耗品や旅費、公共施設の運営などに使ったお金
普通建設事業費	道路や公園などの公共施設を建設するために使ったお金

## 一般会計性質別執行状況

どのようなものにお金が使われたか



## 財政状況のお知らせ

### 市有財産の状況

市が所有する土地・建物・預金など

種別	面積等
宅地	1,246,968㎡
山林	4,357,862㎡
田畑	240,078㎡
雑種地	206,319㎡
建物	381,876㎡
立木	91,674㎡

名称	金額
財政調整基金	3億1,199万円
減債基金	3億4,571万円
国民健康保険財政調整基金	3億55万円
土地開発基金	6億5,379万円
その他特定目的基金等	18億3,305万円
出資金等	7億4,257万円
合計	41億8,766万円

### 市税等の状況

項目	金額	1世帯当たりの負担額	1人当たりの負担額	割合
市民税	10億9,678万円	54,138円	21,939円	35.7%
固定資産税	17億1,327万円	84,568円	34,270円	55.8%
たばこ税	1億4,863万円	7,337円	2,973円	4.9%
軽自動車税	1億1,116万円	5,487円	2,224円	3.6%
入湯税	37万円	18円	7円	0%
合計	30億7,021万円	151,548円	61,413円	100.0%

### 市債の状況

市の借入金の残高

区分	借入先	件数	現在高	1世帯当たりの額	1人当たりの額
一般会計分	財務省	260	155億4,278万円	767,204円	310,899円
	その他	271	139億8,160万円	690,143円	279,671円
	小計	531	295億2,438万円	1,457,347円	590,570円
特別会計分	財務省	60	33億8,892万円	167,280円	67,788円
	その他	103	51億5,264万円	254,338円	103,067円
	小計	163	85億4,156万円	421,618円	170,855円
合計		694	380億6,594万円	1,878,965円	761,425円

### 企業会計の状況

水道や病院の経営状況

	総収益	総費用	当期純利益
工業用水道	1,246万円	586万円	660万円
水道	3億7,709万円	2億1,329万円	1億6,380万円
病院	15億7,307万円	15億5,745万円	1,562万円

### 特別会計の状況

<b>国民健康保険</b>  予算現額 60億9,343万円 収入済額 20億777万円 支出済額 25億2,752万円 差引 △5億1,975万円	<b>国保診療所</b>  予算現額 7,569万円 収入済額 2,058万円 支出済額 3,635万円 差引 △1,577万円	<b>老人保健</b>  予算現額 13億1,922万円 収入済額 7億1,791万円 支出済額 8億5,650万円 差引 △1億3,859万円	<b>介護保険</b>  予算現額 38億8,516万円 収入済額 15億4,048万円 支出済額 15億4,808万円 差引 △760万円	<b>簡易水道事業</b>  予算現額 3億1,594万円 収入済額 3,259万円 支出済額 8,905万円 差引 △5,646万円
<b>港湾施設事業</b>  予算現額 1,907万円 収入済額 460万円 支出済額 965万円 差引 △505万円	<b>土地取得造成</b>  予算現額 2,864万円 収入済額 1万円 支出済額 1,380万円 差引 △1,379万円	<b>土地区画整理事業</b>  予算現額 2億4,772万円 収入済額 0万円 支出済額 9,365万円 差引 △9,365万円	<b>住宅新築資金等貸付事業</b>  予算現額 1億7,153万円 収入済額 1,295万円 支出済額 1億6,262万円 差引 △1億4,967万円	<b>農業集落排水事業</b>  予算現額 4,444万円 収入済額 856万円 支出済額 1,692万円 差引 △836万円
<b>公共下水道事業</b>  予算現額 11億560万円 収入済額 1億4,261万円 支出済額 3億3,043万円 差引 △1億8,782万円	<b>駐車場事業</b>  予算現額 2,550万円 収入済額 715万円 支出済額 1,060万円 差引 △345万円	<b>温泉事業</b>  予算現額 734万円 収入済額 145万円 支出済額 400万円 差引 △255万円	<b>商業集積施設管理</b>  予算現額 320万円 収入済額 143万円 支出済額 41万円 差引 102万円	



▲丁寧に植栽するようす

て植栽作業を行いました。生徒らは、苗木がしっかり根付くようにと丁寧に土をかけ、根本を軽く踏み固めるなどしていました。春には、きっときれいな花をつけ、JRで来られたお客様をお迎えすることでしょう。

## ツツジでPR

～JR伊予大洲駅でツツジの植栽～

10/30(木)

JR伊予大洲駅構内に、ヒラドツツジの苗木20本が植えられました。これは大洲市を訪れる人に大洲市の花木である「ツツジ」を広く知ってもらうとともに、ツツジの名所である富士山をPRしようと、昨年から実施され、今年で2回目を迎えたものです。

この日、喜多地区マナーアップクラブ9校の生徒27人が、JR伊予大洲駅構内西側の空き地に、スコップを使って30分ほどかけて

## 交通事故に遭わないために

～高齢者交通安全教室～

11/6(木)

老人クラブ河辺支部主催の交通安全教室が農業構造改善センターで行われ、高齢者80人が、終始熱心に講習を受けられました。始めにセーフティーリーダーの指導のもと、電動車椅子講習を実施しました。

電動車椅子は歩行者と同じで右側通行、自転車は車と同じで左側通行とのことで、受講者は白線で書かれた横断歩道の右側を走らせました。次に会場を室内に移し、交通安全のビデオを視聴し、最後に大洲警察署員から講話をいただきました。高齢者の皆さん、学ばれたことを地域で広められ、交通事故に遭わない、起こさないようにしましょう。



▲安全運転で快適走行



▲消火器訓練をする参加者

## 万がーに備えよう

～若宮自治会が防災研修～

11/15(土)

防災意識を高めようと、若宮自治会（富永俊平会長）が、防災研修を行いました。この日は、地元住民およそ100人が参加。起震車による地震体験や煙体験ハウスによる煙体験のほか、消火器の使い方の研修を行いました。また、家庭用火災報知機やAEDについて、消防署員から説明を受けました。参加者は、「被害が最小限になるように」と、真剣な表情で消火器訓練などに取り組んでいました。

## 元気いっぱい

～第32回肱川老人クラブ運動会～

11/16(日)

高齢者自らがスポーツに親しむとともに、自己の健康づくりと会員相互の親睦と融和を図ることを目的とし、第32回肱川老人クラブ運動会が、大洲市肱川農業者トレーニングセンターで行われました。

肱川支部老人クラブ会員179人が参加し、開会式では健康優良老人として11人が市長表彰を受けました。

競技は全部で10種目が行われました。その中の「お先にどうぞ」という種目は、ロープを使ってラグビーボールを転がし、ポールを回って次の人へロープをバトン代わりに渡します。一見簡単そうな競技ですが、いざ転がしてみると思い通りにならないラグビーボールに選手らは悪戦苦闘。応援席からは声援とともに、笑みがこぼれていました。



▲なかなか前に転がりません

## まちのわだい

# まちのわだい



▲お祭りで披露された六つ鹿踊り

鹿踊り)や「蔵川獅子」が披露されるなど、一日中賑わいをみせていました。

実行委員会の寺尾会長は、「今年は雨が多く花作りの難しさを痛感した。自然にはなかなか勝てないものです。しかし蔵川のみんが協力して、祭りを盛り上げようとする姿勢がとても嬉しい。ぜひ続けていきたい」とあいさつされました。

## 第2回蔵川フラワーまつり

11/16(日)

豊かな清水と山間地特有の昼夜の温度差などからおいしい米が作られ、藩政時代には大洲藩主へも献上されていたと言われている米どころの蔵川地区で、第2回フラワーまつりが開催されました。この祭りは、蔵川地区を元気にしようと、フラワーまつり実行委員会(寺尾庄一会長)が昨年からはじめたものです。

蔵川地域内には、合わせておよそ7畝のコスモスが栽培されており、会場の三嶋神社周辺の棚田も見頃を迎えていました。お祭りでは、うどんやあん餅、巻き羊羹などが販売されたほか、地元で伝わる「六つ

## 夢をあきらめないで オリンピックへの第一歩!?

～肱川中学校でバレー教室～

11/19(水)

文部科学省などのトップアスリート派遣指導事業で、モンテリオールオリンピック金メダリストの岡本眞理子さんが、肱川中学校でバレー教室を行いました。この事業での中学校への派遣は今年度から開始され、1校目に肱川中学校が選ばれました。生徒会長の水口拓哉さんは「オリンピック選手とふれあう機会はめったにない。今日学ぶことを、これからの生活にいかしたい」と歓迎のあいさつをしました。

岡本さんは講演の中で「人との出会いを大切に、素直に生きてほしい。自分をしっかり受け止めて、あきらめないで努力すれば、希望やチャンスが必ず見えてくる」とご自分の経験を踏まえて話されました。その後、肱川中学校の生徒は岡本さんから基本姿勢やパス、アタックやサーブなどの技術指導を受けました。めったに体験できないトップアスリートからの指導とあって、生徒らは真剣に取り組んでいました。



▲熱心に指導する岡本さん

## 末永く大切に

～大洲ライオンズクラブが新図書館に寄贈～

11/21(金)

大洲ライオンズクラブが50周年事業の一つとして、新図書館に図書と時計を寄贈しようと、市庁舎に大森市長を訪ね、目録を手渡しました。

クラブのメンバーは、「50周年には少し早いですが、新図書館が開館するこの機会に合わせて贈ることにしました。青少年の健全育成に役立てて欲しい」と話され、目録を受け取った大森市長は、「大切に使用していただく。末永く多くの市民に利用してもらいたいと思う」とお礼を述べました。

寄贈された図書は、新図書館に配架され、時計は新図書館入口の看板に設置されます。



▲大森市長に目録を手渡す  
ライオンズクラブのみなさん